

生活交通維持確保路線の状況（令和5年度）

路線名	補助区分	令和5年度における 利用状況		令和5年度 収支比率	令和5年度公費負担額	
		1便あたり 最大利用者数	1便あたり 平均利用者数		市負担額	国県等負担額
① 鳥居原ふれあいの館～橋本駅線	国県補助	37人	16.3人	51.5%	15,976,711円	国 16,146,500円 県 8,073,000円
② 橋本駅～小沢線	国県市補助	32人	15.6人	32.1%	10,129,460円	国 3,823,000円 県 3,823,000円
③ 三ヶ木～半原線	市町補助	22人	2.3人	19.9%	16,121,763円	愛川町 2,686,961円
④ 三ヶ木～東野・月夜野線	市単独	31人	4.0人	15.2%	22,731,083円	
⑤ 三ヶ木～三井・上中沢～橋本駅線	国市補助	43人	16.1人	40.5%	36,139,336円	国 13,581,500円
⑥ 名倉循環線	国市補助	43人	14.0人	52.2%	3,366,927円	国 195,000円
⑦ 藤野地区4系統	国市補助	33人	5.2人	30.4%	35,784,877円	国 2,144,000円

※赤字は見直し検討基準に該当。見直し検討基準を下回った路線は、沿線地域住民と見直し検討を行う。

見直し検討基準：「ピーク時間帯の1便あたり利用者数が10人未満」または「運賃収入が運行経費の27.5%未満」

令和5年度公費負担額合計 国：3,589万円 県：1,190万円 愛川町：269万円
 相模原市負担額：1億4,026万円（対前年 3,048万円増）
 公費負担額計：1億9,073万円（対前年 2,806万円増）